

イージス艦と漁船衝突事故の原因究明と防衛省の改革を求める意見書

去る2月19日、房総半島沖で、海上自衛隊のイージス艦「あたご」が漁船「清徳丸」と衝突する事故が発生した。

漁船の2名の乗組員は未だに行方不明であり、捜索に全力をあげるとともに、事故原因の究明が急がなければならない。

事故原因を究明するためには、海上保安庁による捜査とともに、国会における審議を尽くすべきであるが、その後も自衛艦による事故が発生している状況から考えて、防衛省自らが防衛大臣を中心にして内部改革を断行すべきである。

一方、地元の新勝浦市漁業協同組合では、事故発生後ただちに仲間の救援、捜索を行ってきたが、捜索には多額の経費がかかり、また、その間は漁を休まなければならないため、収入もない状況であったと聞いている。負担が重いことと、行方不明者の家族の申入れもあり、やむを得ず1週間後に捜索を打ち切らざるを得ない事態となったものである。事故原因の究明とともに地元漁協等に対する補償措置も早急に検討されなければならない。

よって羽村市議会は、政府に対して、下記事項を強く求めるものである。

記

1. 事故原因の徹底究明を行うこと
2. 漁船航行の安全確保について、確実な対策を講じること
3. 防衛大臣や内閣総理大臣に対する報告の遅れなどが指摘されている事態に鑑み、危機管理体制の見直しを行うこと
4. 地元漁業協同組合の捜索協力等に対する十分な補償を検討すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年3月27日

東京都羽村市議会議長 水野義裕

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

防衛大臣

あて